

令和2年度第5回池田町まちづくり会議 報告書

日時等 令和2年11月12日(木)午後6時00分～8時15分、西部地域コミュニティセンター
出席者 まちづくり会議委員23名(34名中) 会議の開始時点：23名
傍聴者2人
町担当課長等8名、町事務局(企画財政課)4名

1. 開会

2. 会長挨拶

十河会長

皆様、お忙しいところご出席頂き、ありがとうございます。池田町まちづくり会議を始めます。本日、安井町長が出席しておりますので、ご挨拶をお願い致します

3. 町長挨拶

安井町長

まちづくり会議の委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中お集まり頂きまして、また、これまでも総合計画の検討を進めて頂いておりましたことに対し、感謝申し上げます。総合計画は、今後10年間の進むべき方向と、基本となる施策を明らかにするもの、今後のまちづくりの羅針盤となるものと考えています。

私事ではありますが、先の池田町長選挙におきまして、町民の皆様のご支援を頂きまして、10月31日に町長に就任させて頂きました。町民の皆様の期待、町長職の責任の大きさを感じながら、日々業務を進めているところであります。私も、今回の町長選挙、無投票ではありましたが、まちづくりに対する想い、公約・政策について、お話をさせて頂きました。今回皆様は作業を進めてこられた総合計画と私の公約とは一線を画すものではあります。少しお時間を頂き、先日の町議会でも初心表明させて頂きましたが、冒頭少しお話をさせて頂きたいと思います。

私は、池田町には無限の可能性があると訴えてまいりました。改めて町民一人ひとりがその可能性に果敢に挑戦し続ける池田町を目指していきたいと思っています。そのためには、さらなる住民参加、協働のまちづくり、明るく活気にあふれ夢を語り合えるまちづくり、子どもたちに誇れる持続可能なまちづくりを、オール池田の想いで進めていきたいという想いです。

そのための基本姿勢としては、保健医療福祉、子育て支援、そして教育の充実を基盤とし、そのうえで農業を中心とした産業分野が連携し、強い産業構造を生み出していきたい、雇用をつくり経済的活力を高める産業振興を第一優先で進めていきたいというのが私の考えであります。

人生のステージでお話ししますと、子ども世代、これまで進めてきた医療費の助成などに加え、身近な地域で安心して妊娠・出産、子育てができる環境づくりというものを進めていかなければならないと思っています。教育環境を整えながら、ふるさとを誇りに思える子どもたちを育てていきたいと考えています。次に現役世代、地域経済を支えるために農林業と商工業、観光業といった地域内の産業が連携し、地場産業の育成や地域資源の高付加価値化、6次産業化に取り組み、雇用に繋げ、活力ある産業振興を図ってまいりたいと考えています。

安井町長（前頁より続く）

ワイン事業については、さらなるブランド化に加え、これも地域内の他産業との連携が必要と思いますし、民間活力の導入検討をすすめてまいりたいという考えです。

高齢世代には、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができる、地域共生社会の実現に向けた環境づくりが必要と考えています。健康づくり、安心な医療体制の推進を図るとともに、高齢者が長年培ってきた知識、経験をいかし、生涯現役・活躍できるまちづくりを目指していきたいと考えています。

すべての世代に通じる安心安全なまちづくりとして、災害に強い防災基盤の整備や防災教育、自主防災組織の育成等防災体制の整備が必要と思っています。また、本町の自然環境をいかした再生可能エネルギー、地域循環型システムの構築を目指したいと思いますし、本町の立地条件や昨今の“コロナ禍”における新たな生活スタイルに適応した地方回帰への環境整備により、定住を促進し企業誘致や起業支援にも取り組んでいきたい、このような想いがあります。

そこで、これまで皆さんが総合計画の論議をされてきたものと、今お話をさせて頂いた想いというものが、決して相反するものではなく同じ方向に向かって今後進んでいくものであると受け止めさせて頂いております。当然、総合計画は向う10年間の物事でありまして、（町長）公約は4年間でありまして、優先順位や進め方には多少の違いがあるかと思っておりますけれども、基本的には同じ方向であろうと受け止めているところでございます。

例えば、住民アンケートでは子育て支援に対する期待度が高かったということを知っていますが、私も、将来には子どもたちに誇れるようなまちづくりが必要だと思っておりますし、そのために子育て環境を整備する必要があり、これまでも様々な子育て支援の施策を講じてきておりますが、少子化に歯止めがかからない状況にあります。子育て環境を整えると同時に、子育て世代が住み続けられるようなまちづくりという意味で、しっかりとした雇用を含めた産業が無くては、そのようなことも進められない、そういった意味ではそれぞれの施策はそれぞれ単独で進められるものではなくて、それぞれに関連しているのが私の印象であります。

町の方では、来年度の予算の策定作業が進められているところです。来年度は、第5次総合計画の初年度になりますので、来年度予算においてどのように総合計画の考え方を反映していくのかということも重要でありますし、10年スパンということで考える必要もあるかと思っています。

先般、町の管理職会議においてもお話をさせて頂きました。それぞれに課題があり、課題解決には時間を要するものもあります。予算が必要となるもの、すぐに結果が出ないものもあります。そこは、単年度で考えるのではなく、将来にわたってそれぞれの施策を講じ目指すべき町の姿になっていく取り組みが必要だろうと話をさせて頂きました。財政事情もあり新規事業に取り組むのは難しいことありますが、「夢を語り合えるまちづくりをしたい」と先ほども話しましたが、単なる「夢物語」では進んでいかないとも思っています。将来的に課題を解決する視点に立って取り組む必要があると考えています。

そのうえで、皆さんに協議頂いているこの総合計画が指針となっていく、重要なものとなります。協議も大詰めを迎えておりますが、最後までご協力をお願い致します。

お礼を含めてのご挨拶とさせて頂きます。どうぞ今日もよろしくお願い致します。

4. 報告（説明）事項

事務局

まちづくり会議条例第5条により、この会議は委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないこととなっています。開会の時点で、委員34名中23名の出席を頂いており、会議が成立していることを確認します。

本日は、これまでの会議において内容確認を行ってきました池田町第5次総合計画につきまして、素案としてまとめ、まちづくり会議へ「諮問」、計画素案としての提案を行います。将来像、目標人口、基本目標などについて、全体会議で確認を行います。その後、基本計画に係る事項、また、諮問に対する「答申」に向け、部会に分かれ、協議を行います。

本日も、2時間程度を目途に会議を進めたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

5. 池田町第5次総合計画の策定について（諮問）

（町長から、池田町まちづくり会議 十河会長へ、諮問）

6. 協議事項

（1）池田町第5次総合計画の策定に係る諮問内容の協議について

十河会長

ただいま、第5次総合計画の策定にかかる諮問を受けました。今後、総合計画（素案）として示された内容について、適正なものと認められるか、についての協議を行うこととなります。引き続きよろしくお願い致します。

それでは、協議事項に入ります。諮問内容の協議として、先に説明のとおり、基本構想から順に協議します。最初に「1. 池田町の将来像」について、説明をお願いします。

基本構想 1. 池田町の将来像

安井町長

「基本構想」と書かれている資料の2枚目、「1. 池田町の将来像」につきまして、ご提案致します。

（1）として、昭和43年に制定した池田町町民憲章、総合計画では、町民憲章を实践するまちづくりをすすめることとしています。資料中段、（2）将来像、池田町第5次総合計画では、池田町町民憲章を实践するまちづくりを目指し、これまで本町が築いてきた個性豊かなふるさとづくりを次世代へとつなげ、住みよいまちづくりを進めるため、将来像を次のように定めます。「ひとが育ち まちが育つ みんなでつくろう 明るいふるさと いけだ」

基幹産業である農業を中心とした産業の連携・発展、恵まれた自然環境の維持・保全、特徴ある地域文化の伝承を土台に、「まちづくりは人づくり」の考え方のもと、次代を担う子どもたちがすこやかに育ち、地域で暮らす人々の笑顔が輝き、だれもが住みたい、住み続けたいと思えるまちづくり・ふるさとづくりを目指します。

なお、将来像策定の経過としまして、資料1により説明を加えます。今回の総合計画の策定に際し、池田町の将来について関心を持ってもらい、今後のまちづくりについて一緒に考えるきっかけづくりになることも期待し、中学生まちづくりアンケート調査を行いました。

安井町長（前頁より続く）

その中の質問の一つとして「まちづくりのキャッチフレーズ」の回答をお願いしています。それらの内容につきましては、アンケート調査結果報告書としてまとめ、ホームページ等で公表するほか、委員の皆様へも説明させて頂いているところです。

今回、検討経過の透明性を確保することも意識し、多くの職員がかかわる職員研修の場を利用し、まちづくり会議で出された意見はもちろんのこと、住民アンケートやワークショップの意向に沿う将来像、中学生提案を尊重し、原案を作成しました。

今回、原案とした中学生の提案につきましては、キーワードとして最も多かった「笑顔」、「元気」などを表現する言葉として、町民憲章にも含まれる「明るい」が使用されています。

また、「子どもが育つ、地域が育つ」は、特に課題とした基本方針にもある住民参加や協働のまちづくり、子育てへの支援などもイメージされるものと思います。さらに、これも大きな課題としている人口減少対策について、移住者を増やすことや雇用の場を確保することなどとともに、地元回帰意識を高める取り組み、進学や就職で池田を離れていても、地元を想い、いずれ帰りたいと思えるまちづくりが大切であると考えています。地元で生まれ育った人たちだけではなく、移り住んできた人、また、今は離れて暮らしている人も含め、想いをあわせる言葉として、「みんなでつくろう」、「明るいふるさと」は、将来像を表現するものとして、適切なものと考えています。

以上、池田町の将来像としてご提案します。よろしくお願い致します。

< 質疑等無し、原案のとおり承認することを確認 >

基本構想 2 . 人口指標

安井町長

人口指標につきまして、ご提案致します。

総合計画の最終年、令和 12 年度の人口は、国の推計では 4,950 人程度となることが推計されています。目標とする人口規模につきましては、先のまちづくり会議において協議頂いたところです。その内容も踏まえ、総合計画の各施策、事業の実施により、現在 1.38 となっている出生率を、国や北海道の計画目標同様、1.8 程度まで改善する、また、転出者が転入者を上回っている状況を 3 割程度改善する、以上により、目標人口を 5,100 人に設定することをご提案します。よろしくお願い致します。

< 質疑等無し、原案のとおり承認することを確認 >

基本構想 3 . 土地利用の方向、4 . まちづくりの基本方針

< 前回会議にて確認、質疑等無し、原案のとおり承認することを確認 >

基本構想 5 . まちづくりの基本目標

安井町長

まちづくりの基本目標につきまして、ご提案致します。

今後 10 年間のまちづくりの基本目標としましては、子育て支援、福祉、保健・医療、そして教育の充実を基盤としたうえで、基幹産業である農業を中心に、各産業が連携し、経済的活力を高め、雇用の創出や地域の活性化につなげる取り組みが重要と考え、素案として作成しています。

以上により、本日は、新たにご提案させて頂く部分、基本目標の名称および内容につきまして、読み上げて提案致します。(以下、基本目標読み上げにつき、記載を省略します。)

< 質疑 >

委員) 基本目標 4 に関連し、国土強靱化計画を本年中に策定することとされていたが、進捗状況はどうなっているか。

回答) 全市町村策定が求められ、本町でも策定準備中にある。町としての災害に弱いところを整理するものとなり、対応策は対策ごとの個別計画で整理していくこととなる。(総務課長)

委員) 基本目標 3、学校教育の政策で「基本的な倫理観や規範意識を身に付け…」とあるが、倫理観と規範意識は同意ではないか。「倫理観や主体性を身に付け…」等とした方が良いのではないか。

回答) 学校教育各種計画でそのように規定している。小中学生でもあり、その範囲内で教育を進め、その後に自主性、自立心を養っていくこととし、整理している。(企画財政課長)

< 質疑等の後、原案のとおり承認することを確認 >

(2) 諮問に対する答申内容の協議について

資料説明の後、部会協議を行う。基本計画の目標指標の確認、施策 { 産業連携、起業化支援 } の確認、諮問に対し、総合計画 (素案) の内容が適正と認められるか否かの確認、諮問に対する答申案として付記すべき事項、以上 4 点について協議する。なお、及び については、全体会議で確認することとする。

< 休憩 (午後 6 時 5 0 分 ~ 7 時 0 0 分) >

< 部会協議 (午後 7 時 0 0 分 ~ 8 時 0 0 分) >

< 全体協議 : 部会協議の結果報告 >

保健福祉、教育部会 《 保健福祉を中心にしたグループ 》 報告 (町事務局)

総合計画 (素案) の内容は、概ね適当と認められることを確認した。

意見はあまりなかったが、中学生の意見反映等もあり、概要版作成するなど住民にも分かりやすく伝える努力を行うべきとの意見が出された。

産業振興部会 報告（土屋部会長）

総合計画（素案）の内容は、概ね適当と認められることを確認した。

答申内容に付帯すべき意見等も、特に出されなかった。

生活基盤整備、移住交流部会 報告（森尾部会長）

目標指標について、目標設定値が低いのではないかと意見が出された。

総合計画の中で特に重点化し進めてほしい事項として、防災体制の充実、子どもが安心して遊べる公園の整備、移住促進、雇用や住宅も含めて推進してほしい、以上です。

保健福祉、教育部会《教育文化スポーツを中心にしたグループ》報告（内藤部会長）

目標指標について、小・中学校教育の目標を高く修正するとのことであった。高く設定することは良いことではあるが、一方で「学習漬け」になってしまうとの意見、それよりも心を豊かにするような子どもを育てた方が良いという意見もあった。また、スポーツ活動の総合体育館利用者数の目標値に誤りがあり、現状維持に修正する（30,000人 33,000人）とのことで確認された。

産業連携施策、農業体験の現状として、あまり進んでいない、相当頑張らないとならないという意見があった。

答申に向けた付帯意見として、ふるさと教育の重要性の意見がこれまでの協議で多く出されたが、その内容から郷土資料館、大変素晴らしい資料館があるが、子どもたちに池田の歴史を意識させることにより、ふるさと教育にもつながるのではないかという意見。また、「100年の森」構想、意識されなくなった面もあるが、町民が理解し維持発展していくよう進めてほしい、総合計画でも美しい環境を5年10年として維持管理を目標として欲しいとされた。

（3）今後の会議の進め方について

本日も長時間協議頂き、ありがとうございました。本日頂きましたご意見を踏まえ、答申案を作成し、次回の会議において改めて協議させて頂くこととします。

今後の予定として、資料5によりご説明致しましたが、計画の内容がおおむね適正と認められれば、総合計画の策定作業としては、次回の会議が最後となります。来週17日から12月16日までの1か月間、計画の公表を行い、広く意見を募集することとしていますが、その後、出された意見を取りまとめ、12月21日（月）から23日（水）頃にも会議を開催し、計画の諮問に対する答申案を協議させて頂きたいと思っております。

1月の議会日程の関係から、1月中旬には議会へ計画の最終案を提出する必要があり、そのためには年内の会議開催が必要となります。年の瀬を控え、お忙しい時期の会議開催となってしまいますが、ご理解のうえ、よろしくお願い致します。

7. その他 特になし

8. 次回の開催予定 特になし

9. 閉会（午後8時15分）